

建築物名称	東芝キャリア株式会社 富士工場501号建屋 新築工事
受付日	平成31年3月19日
建物所在地	富士市蓼原字下徳間336番1 他24筆
構造規模等	鉄骨造／地上4階／延床面積19,991.32平方メートル／新築
建物用途区分	事務所、工場
建築主	東芝キャリア株式会社 富士工場 工場長 和田宏二
設計者	株式会社日建設計一級建築士事務所 富田彰次
工事完了予定日	令和元年12月30日

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東芝キャリア株式会社 富士工場50	階数	地上4F
建設地	富士市藤原字下徳間336番1 他24	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条地域、富士市	平均居住人員	964 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,500 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2019年3月11日
敷地面積	20,266 m ²	作成者	富田 彰次
建築面積	7,101 m ²	確認日	
延床面積	19,991 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ★★★★★ 60% ★★★★★ 80% ★★★★★ 100% ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 77%
③上記+②以外の 77%
④上記+ 77%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 4
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 2
LR2 資源・マテリアル: 1
LR3 敷地外環境: 1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
CASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。		
Q1 室内環境 ・事務室の主要な開口部に庇やLow-e複層ガラスを用いて採光を確保しながら、日射による温熱抑制を図る ・給気に対して、汚染源のない位置かつ排気から6m以上の離隔を確保	Q2 サービス性能 ・事務室天井高さ2.9m以上確保 ・外装、内装、空調ダクト、配管の耐用年数や更新間隔に配慮 ・耐震クラスA	Q3 室外環境(敷地内) ・ほぼ正方形で高さを抑えることで、周辺環境に調和した建物構成 ・建物周囲に歩道や緑地帯を設置して安全に配慮した計画
LR1 エネルギー ・庇やLow-e複層ガラスの採用で省エネに配慮した設計 ・BEIm=0.64(30%以上低減) ・自然換気利用	LR2 資源・マテリアル ・節水型器具の採用 ・リサイクルできる建材(タイル、ビニル床タイル、ロックウール化粧吸音板)など資源・マテリアルに配慮した設計 ・井水100%利用(敷地内の飲適井水を利用)	LR3 敷地外環境 ・地球温暖化への配慮(BEIm=0.64)

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



□欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要					
建物名称	東芝キャリア株式会社 富士工場501号建屋	BEE	1.5	BEEランク	A
					★★★★

2. 重点項目への取組み度					
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価	凡例	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.8	/5		ふつつ	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.3	/5		ふつつ	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.3	/5		ふつつ	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.9	/5		がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア10=1点、スコア50=5点)				評価 凡例	
				よい 4 点以上	
				ふつつ 3 点以上	
				がんばろう 3 点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目					
各項目について記述した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		得点		3.8			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)							
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②屋光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) <ul style="list-style-type: none"> ④天井: ロックウール化粧吸音板 ④用途に応じて、SUS、ガルバリウム、塩ビライニング製を採用 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> ⑥建物周囲に犬走り・植栽等を設置。 ■エネルギー対策 (⑦建築物外の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの効率化/⑩効率的運用) <ul style="list-style-type: none"> ⑦建物の外皮性能 BEI 非住宅:0.64。 ⑧自然通風による自然エネルギーの利用。 ⑩LED照明の採用、各種インバータ制御、高効率空調機の導入。 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源確保/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑫鉄、ビニル床タイルシート、外壁:断熱パネル。 ⑬乾式で構成し、躯体と主要仕上げ材の分別が可能。 ⑬F☆☆☆☆の全面利用、ホルムアルデヒド以外のVOCの放射率小 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) 	Q-1	2	2.1	2.2	①	外皮性能	
	Q-1	3	3.1	3.1.3	②	屋光利用設備	
			3.2	3.2.1	③	遮光制御	
	Q-2	2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数	
			2.2.2	2.2.2	④	外壁仕上げ材の耐修必要間隔	
			2.2.3	2.2.3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
			2.2.4	2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔	
			2.2.5	2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔	
			2.2.6	2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔	
			3	3.2	⑤	生物環境の保全と創出	
				⑥	敷地内温熱環境の向上		
		LR-1	1	⑦	建築物外の熱負荷抑制		
			2	⑧	自然エネルギー利用		
			3	⑨	設備システムの効率化		
			4	⑩	モニタリング		
			4.1	⑩	運用管理体制		
			4.2				
		LR-2	1	⑪	節水		
			1.2	⑪	節水利用システム導入の有無		
			1.2.1	⑪	節排水等利用システム導入の有無		
			2	⑫	材料使用量の削減		
			2.1	⑫	既存建築物等との継続使用		
			2.1.2	⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用		
			2.1.3	⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		
			2.1.4	⑫	持続可能な森林から産出された木材		
			2.1.5	⑫	材料の再利用可能性向上への取組み		
			2.1.6	⑫	有害物質を含まない材料の使用		
			3	⑬	耐火剤		
			3.2	⑬	断熱材		
			3.2.1	⑬	断熱材		
			3.2.2	⑬	断熱材		
			3.2.3	⑬	断熱材		
				⑭	地球温暖化への配慮		
			2	⑮	温熱環境悪化の改善		
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)		得点		3.3			
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) <ul style="list-style-type: none"> ⑰建築基準法より25%増の耐震構造。 	G-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性	
					2.1.2	⑯	免震・制震性能
				2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備
				2.4.2	⑰	給排水・衛生設備	
				2.4.3	⑰	電気設備	
				2.4.4	⑰	設備・配管支持方法	
				2.4.5	⑰	通信・情報設備	
	"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)		得点		3.3		
	<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) <ul style="list-style-type: none"> ⑲事務室の天井高さを2.9m確保、リフレッシュスペースや自販機コーナーの設置 ⑲増床さを事務所増で4.5m確保。 ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) <ul style="list-style-type: none"> ⑲街並みに配慮し、正方形で高さを抑えて、小片環境に配慮した。 	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱	ユニバーサルデザイン計画
				3	3.1	3.1.1	⑱
					3.1.2	⑱	空間の形状・自由さ
			Q-3	3	3.1	⑲	地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)		得点		2.9			
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉑まちなみ景観への配慮/㉒敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> ⑲建物周囲に植栽帯・犬走りを設置。 ■敷地外環境対策 (㉓温熱環境悪化の改善) 		Q-3	1			⑳	生物環境の保全と創出
			2			㉑	まちなみ景観への配慮
			3	3.2		㉒	敷地内温熱環境の向上
			LR-3	2	2.2	㉓	温熱環境悪化の改善